■北原稲雄　草莽の国学者。私財投打ち，師平田篤胤の遺稿を刊行。幕末には志士を支援し，維新後は士族に尽した。
きたはらいなお
異国船打払令1825＝　信濃国伊那郡座光寺村(長野県飯田市)に生まれた。

高島砲術・・1834＝ 9歳：

大塩平八郎乱1837＝12歳：

順天堂始・・1843＝18歳：

阿部正弘首座1845＝20歳：

北斎没・・・1849＝24歳：_父の業をつぎ名主役となり，

飯田の歌人福住清風門人となり，筆子を養成，教化指導につとむ。
万次郎帰国・1852＝27歳：
ペリー来航・1853＝28歳：
_天竜川原開発につとめ，父子2代苗字帯刀御免となる。

安政の大獄・1859＝34歳：*南山騒動には百姓の大将として鎮静化につとめ，平田篤胤の没後に入門，「弘仁暦還記考」を出版助成し，
桜田門外変・1860＝35歳：_完成，
遣欧使節・・1861＝36歳：
生麦事件・・1862＝37歳：_「古史伝」上本助成運動の発起人となり，その後，足利氏木像梟首事件の角田忠行をかくまい，

禁門の変・・1864＝39歳：弟今村豊三郎とともに，_水戸浪士の伊那谷通過支援・資金調達をし，

大政奉還・・1867＝42歳：_片桐春一中心の本学霊社建立を助け，また伊那・東濃の国学者の結集に努める。
明治維新・・1868＝43歳：_高松隊・相楽隊に協力，子の信綱を戊辰戦争に参加させ，自らは維新後，在地協力派となり村政改革し，
戊辰戦争終・1869＝44歳：*家督を信綱に譲り，伊那県に出仕して贋金騒動鎮圧，
初の日刊新聞1870＝45歳：
筑摩県権少属・同中属を歴任，

明治6年政変 1873＝48歳：
_明治政府に福沢批判の建白書を出し，三田の文教政策を批判，
その間，地価算定には地価嘆願惣代ともなる。

西南戦争・・1877＝52歳：*前沢万重・倉沢義髄とともに，松本開産社をつくって初代社長となり，
_荒蕪地開墾，茶・楮・食・藍・果実その他を育成，養蚕・牧牛・養豚などを行ううち，
沖縄県編入・1879＝54歳：
・・・・・・1880＝55歳：*民権派の批判を受け，辞職して帰郷し，
明治14年政変1881＝56歳：_没した。
遺著に「雪の信濃路」5巻，「鏑酒舍歌集」2巻，「当家年代記」「水内神社考」がある。